

子どものあそび

むかしといま

20年前に親しまれたあそび

鬼ごっこ・縄跳び・ドッチボール
けん玉・オセロ・テレビゲーム
たまごっちなど・・・

外に出ればいつの間にか
あそびが始まっていた

現在も親しまれているあそび

スマホゲーム・通信型ゲーム機
ブロックあそび・カードゲーム
ネット動画観賞など・・・

ひとりで楽しめるあそびが
多く室内であそぶ子どもが
増えました

いつの時代も



子どもは、あそびからたくさんのことを学び、成長し、心を豊かに育みます

あそびは楽しい

「おもしろそう」「やってみよう」という気持ちであそぶ子どもたち。
「できた!」というさまざまな成功体験を重ねていくことであそびがもっと楽しくなります。

あそびから学ぶ

友だちと一緒にあそぶコミュニケーションをとることで順番を待つこと、我慢すること、ルールを守ることなど協調性を学びます。

あそびで育つ

あそびを通して、いろいろな事に挑戦する中で身体や運動能力だけでなく、心も豊かになり、創造性や主体性が育ちます。

みんなで

たのしく

えがおで

つづく

未来へ

